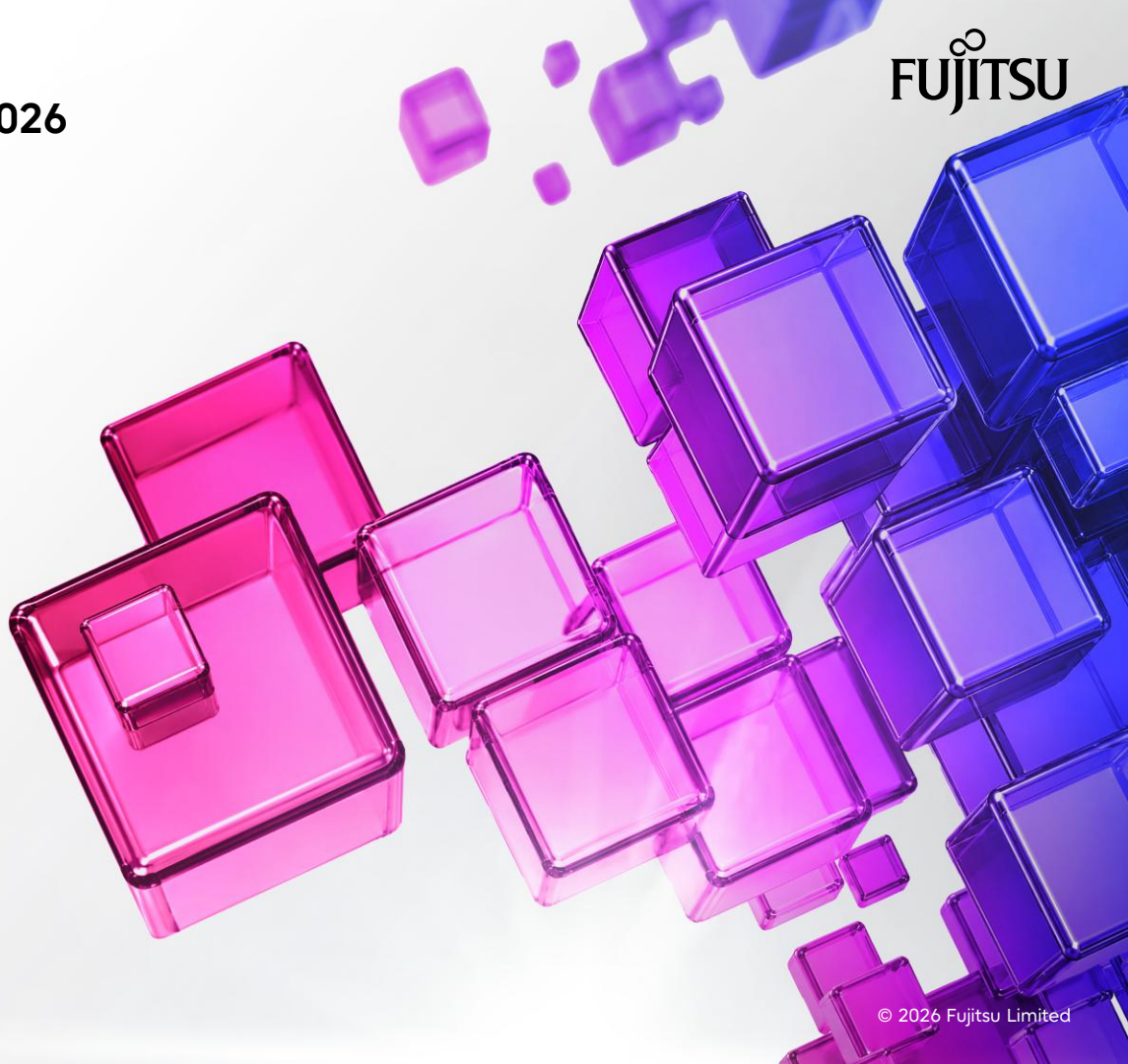


M-02

Fujitsu Experience Day 2026

FUJITSU

失われた設計書を 生成AIで復元・最新化



Fujitsu Application Transform

お客様課題

- 設計書が不足・陳腐化し、現行資産の全体像を把握できない
- 保守・モダナイゼーションのたびに、ソース解析工数が発生

提供機能

- ソースコードから、任意のタイミングで必要な設計書を即時生成

特長/強み

- ブラウザからすぐに利用可能
- 業務情報も反映した可読性の高い設計書を生成

属人化を解消する設計書生成技術

知見を設計書化し共有 属人化した運用から脱却

ソースコードや業務情報をもとに、理解しやすい設計書を自動生成。
必要なタイミングで設計書を復元・最新化できるため、
知見を継続的に活用できます。



資産からの設計書生成、Fujitsu Application Transform powered by Fujitsu Kozuchi



設計書リバースの技術をSaaSとして提供

設計書リバースの技術をSaaS化
トラブル時・調査時・改修前など、
必要なタイミングで設計情報を取得



Fujitsu ナレッジグラフ拡張RAG for Software Engineering

Fujitsu Kozuchi のコア技術である「Fujitsu
ナレッジグラフ拡張RAG for Software
Engineering」を実装
いつでも、高品質な設計書を生成可能

設計書不足により、システムがブラックボックス化

- 長年の改修・機能追加により、コードと設計書の整合が取れない状況が常態化
- 設計情報が暗黙知として人に蓄積し、文書化されずブラックボックス化が進行

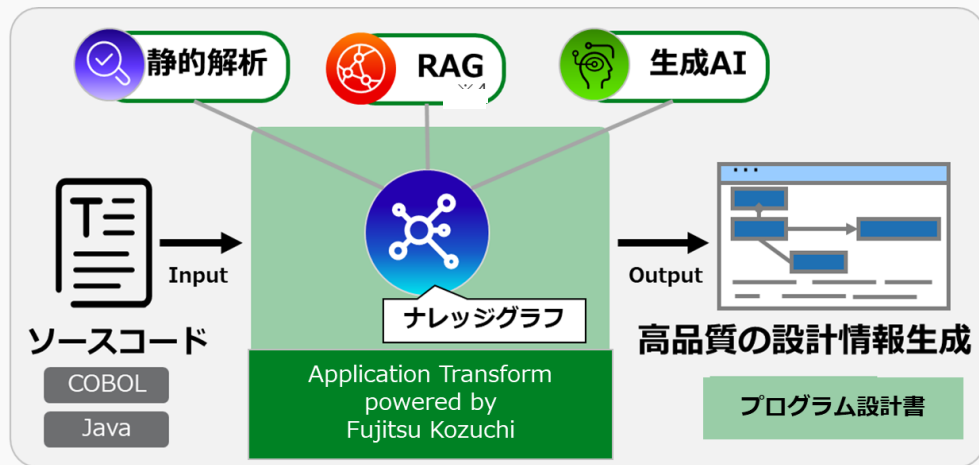
ブラックボックス化による課題

- 設計書が古いため、システム構造が分からず、仕様理解のたびにコード解析が必要となる
- システム保守やモダナイゼーションにおいて、調査・分析に膨大な工数がかかる

設計情報を
継続活用する仕組みが必要

● 「ソースコードの静的解析」と「生成AI」を融合した設計書自動生成SaaS

- ソースコードから必要な設計書を、任意のタイミングで生成可能
- トラブル対応、モダナイゼーションの事前調査の対応工数を大幅削減



ソースコードを起点に、設計情報を自動生成・最新化

精度／信頼性向上を支える独自技術



静的解析ツールによる情報構造化 (静的解析×ナレッジグラフ)

静的解析により構文・制御・呼出関係などの情報をナレッジグラフとして構造化。
生成AIの大規模データ参照の弱点を克服し、抜け漏れを抑制。



「業務辞書」インプットによる 業務理解のしやすい設計書抽出

プログラムソース情報だけでなくお客様固有の「業務辞書」のインプット機能を搭載。
可読性の高い設計書をアウトプット。



独自プロンプトによる AI推論プロセスの制御

概観から根拠、詳細へと段階的に生成を指示する、プロンプト技術を実装。
AI特有のブレを抑え、高い再現性と安定した品質を実現。

期待効果

設計書生成の**作業時間短縮**

COBOL解析の**網羅性向上**
(汎用AI比)

設計書の**可読性向上**
(従来比)

※（参考）当社顧客案件での評価結果

**富士通独自技術によりAI特有の抜け漏れやハルシネーションを大幅に抑制
AI活用に適した高品質なデータ基盤の構築をサポート**

モダナイゼーションに関するご相談・お問合せは
こちらにお願い致します

モダナイゼーションイベント事務局

・e-mail : contact-fjip-moder@cs.jp.fujitsu.com

Thank you

